

みしま

三島には、どんな物語があつたのだろうか

特集

三島物語

地域の歴史・文化

もくぞうせい かのんぼざつごぞう 木造聖観音菩薩座像

大石田地区の観音堂にある「木造聖観音菩薩座像」は町指定有形文化財の一つです。天文21年(1552年)、西方・鴨ヶ城主の山ノ内信重が、御坂山大高寺を焼いて滅ぼした罪を償うために、この仏像を造り観音堂を建立したと伝えられています。像の高さは約30cmで、気品のあるお顔、流れるような衣の美しい仏像です。

地域の歴史・文化を今に伝える文化財。その背景には、この地で暮らしてきた人々の物語があります。

2009

9

広報みしま No. 198



「いまここネット」の皆さんが内堀雅雄副知事を表敬訪問
 人口2,000人、みんなが主役になれる
 よそ者と地元の協力をいまここで



「いまここネット」の皆さんが8月5日、福島県庁を訪れ、内堀雅雄副知事を表敬訪問しました。「いまここネット」は、三島町で「何かをやりたい」と考えている人たちのネットワークをつくるなどの目標を掲げて発足しました。6月からは旧物産館を借りて「いまここカフェ」を開設し、年中行事などの写真展やトークライブを開催しました。また、西方地区で畑を借り、「西方カタクリの会」の皆さんの協力のもと農作物を栽培するなど、さまざまな活動を実践しています。

これらの取り組みが7月29日の毎日新聞に掲載され（奥会津書房編集長・遠藤由美子

さんの寄稿）、その記事を読んだ内堀副知事から「ぜひ会って話を聞きたい」と連絡があり、今回の表敬訪問が実現しました。

代表の八木周作さん（宮下）は内堀副知事に「三島は人口2000人で一人一人が主役になれます。よそ者の発想と地元の方々の協力で、新しい仕事をつくっていききたいです」と話しました。また、栽培した枝豆やジャガイモなどを持参し、さらにギターを演奏して場を演出しました。

内堀副知事は「皆さんのことを知り、過疎化の進む地域に光が差したように思います。山村の魅力を発信してください」と励ましました。

- 1 県庁の副知事室を訪問した「いまここネット」の皆さん。右から、轡田倉満さん、川合正裕さん、広浦直人さん、代表の八木周作さん。西方地区で畑を借りて栽培した枝豆やジャガイモなどをテーブルに置き、これまでの活動状況や今後の目標などを内堀雅雄副知事（左端）に話した
- 2 新聞各社やNHKなどが取材に訪れた
- 3 ギターを演奏する八木さんと広浦さん。「副知事室でギターを演奏する方は、おそらく初めてですね」（内堀副知事）

特集
三島物語

地域の歴史・文化

歴史を学ぼう。文化を知ろう。
 未来への道しるべが、きつと見えてくる。

約1200年前、平安時代初期、会津に仏教を広めた高僧がいました。

その名は「徳一」。

徳一は、慧日寺（磐梯町）や勝常寺（湯川村）など数多くの寺院を建立し、「仏都会津」を築きました。そして三島町にも、徳一が建てた由緒ある寺院が存在したのです。

「会津大沼郡金山谷大石田邑に空海法印御坂山大高寺を建立。徳一を開基として大寺慧日寺に属す。三十六坊あり」

「会津正統記」から引用

この記述から、三坂山に大高寺という三十六坊を有する寺院があったことが分かります。

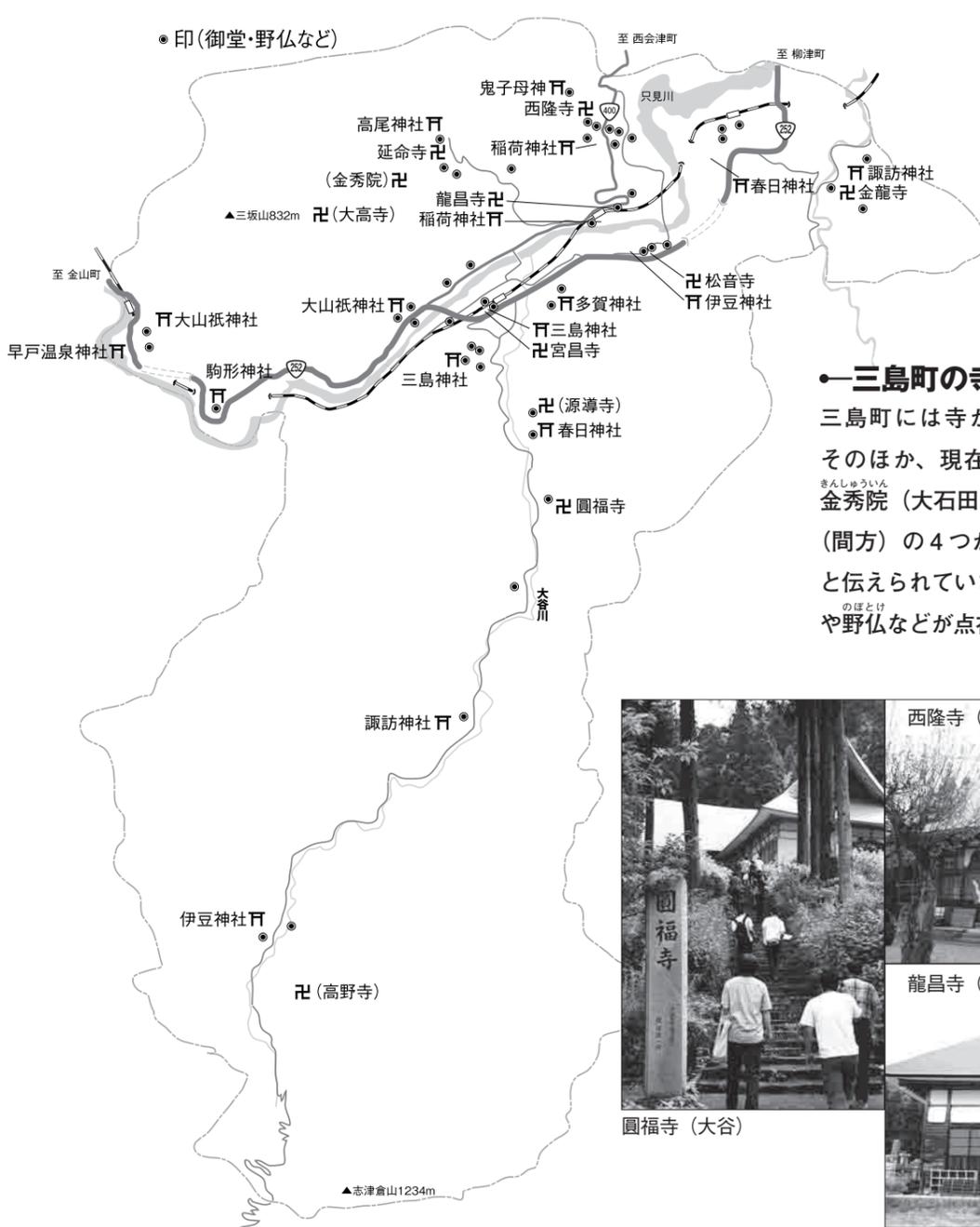
ます。また、同じく三坂山のふもとに金秀院、大谷地区に源導寺、間方地区に高野寺が、徳一によって建立されたといわれています。

大高寺と高野寺は、慧日寺、恵隆寺（会津坂下町）、法用寺（会津美里町）とともに「会津の五つの高寺」と呼ばれ、仏都会津の代表的な寺院でした。

当時の三島町は、寺院を中心として多くの人々が行き交い、活気に満ちていたのでしようか。地域には、歴史を物語る数々の文化財や言い伝えが残っています。

さあ、ページをめくりましょう。古来の物語の世界へご案内します。

写真 / 大石田地区・大石沢に、徳一が建立した金秀院の跡地とみられる場所がある。そこには巨大な岩があり、その上にはカエデなどの木々が生い茂っている。この岩に虚空蔵菩薩を表す文字が刻まれているといわれるが、風化して明確ではない。明治初期までここに虚空蔵堂があったが、現在はその礎石と思われる石だけが残っている。



観音堂 (大石田)

—三島町の寺・神社・御堂など—

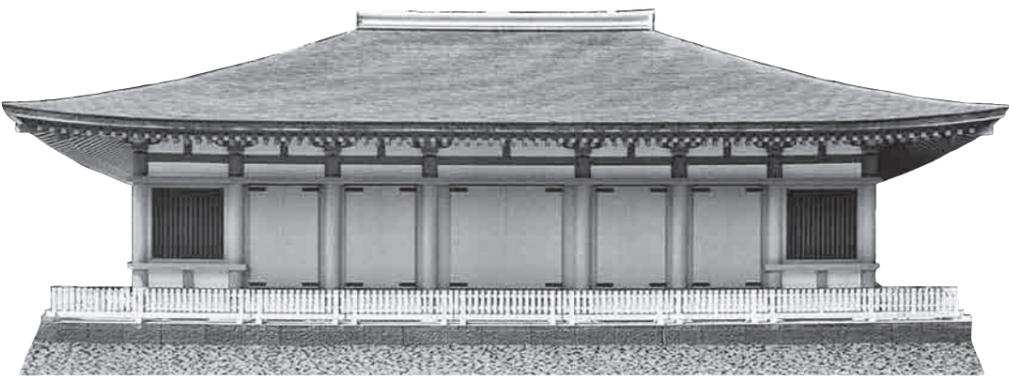
三島町には寺が7、神社が17あります。そのほか、現在はない大高寺 (大石田)、金秀院 (大石田)、源導寺 (大谷)、高野寺 (間方) の4つが徳一によって建立されたと伝えられています。また、48カ所に御堂や野仏などが点在しています。



圓福寺 (大谷)

国指定史跡「慧日寺跡」
慧日寺金堂

磐梯町の「慧日寺跡」は昭和45年、国史跡に指定されました。昨年、中心建物である「金堂」が復元され、続いて「中門」も復元されました。平安時代初期に徳一によって建立された慧日寺は、磐梯山麓に広がっていた山岳寺院です。史跡は「観音寺地区」「慧日寺中心伽藍地区」「戒壇地区」の3地区に散在しています。



復元された慧日寺金堂



その昔、この三坂山に三十六坊を有するとても大きなお寺があった。その名は、御坂山大高寺。

役場から望む三坂山

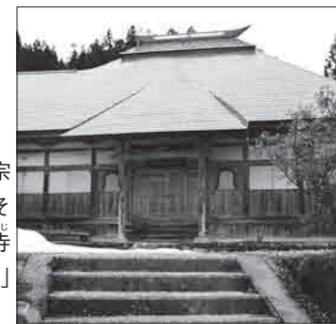
高僧徳一がもたらした仏教文化
三島にもあった
仏都会津の歴史

会津には数々の寺社や仏像などが残っており、「仏都会津」と呼ばれています。中でも湯川村の勝常寺にある国宝薬師如来坐像や、会津美里町の中田観音、会津坂下町の立木観音、西会津町の鳥追観音、通称「会津ころり三観音」などが有名です。会津の仏教の歴史をたどれば、1200年前の平安時代初期までさかのぼります。奈良の都から訪れた高僧徳一は大同2年(西暦807年)、現在の磐梯町に慧日寺を建立しました。その後も会津各地に寺院を建立し、民衆に仏教を広めました。最盛期の慧日寺には、3800を数える子院があったといわれています。昨年、磐梯町で慧日寺金堂が復元され、徳一による会津への仏教伝来を今に伝えています。

そして「仏都会津」の一端を担った大寺院が、三島町にもあったのです。徳一は、三坂山に三十六坊を有する「御坂山大高寺」を建立したと伝えられています。三坂山のどの辺りにあったのか、現在では分かりませんが、大石田地区の延命寺の前身は、三十六坊の一つ「延命坊」といわれています。見慣れた三坂山の風景のどこかに、大高寺の立派な木造建築群と、そこに続く参道や石段が存在したのでしょうか。今ではその光景を想像することしかできません。現在、会津若松市などでは「極上の会津」と称し、会津各地の寺社や仏像などを積極的にPRしています。徳一が火をともし、1200年にわたって受け継がれてきた会津の仏教文化。その歴史は、三島にも刻まれています。

※徳一 (西暦760年-835年)
奈良の都、東大寺で法相宗を学んだ高僧。20歳ごろに東国へ下って民衆布教を行い、「徳一菩薩」と称された。慧日寺(磐梯町)のほか、勝常寺(湯川村)、福満虚空蔵尊圓藏寺(柳津町)など数々の寺院を建立した。慧日寺跡には、徳一の墓と伝えられている五輪塔がある。

大石田地区にある真言宗の寺「長久山延命寺」。その前身は、御坂山大高寺三十六坊の一つ「延命坊」といわれている。



三島町の指定文化財

①国指定文化財（1件）

名称	文化財の分類	地区
三島のサイノカミ	重要無形民俗文化財	11地区

②県指定文化財（24件）

名称	文化財の分類	地区
荒屋敷遺跡出土品 280点	重要文化財	荒屋敷
若水汲み	重要無形民俗文化財	桑原
若水汲み	重要無形民俗文化財	早戸
若木迎え（山参）	重要無形民俗文化財	小山
若木迎え	重要無形民俗文化財	滝原
若木迎え	重要無形民俗文化財	早戸
鳥追い	重要無形民俗文化財	桧原
鳥追い	重要無形民俗文化財	滝谷
鳥追い	重要無形民俗文化財	西方
だんごさし	重要無形民俗文化財	大登
だんごさし	重要無形民俗文化財	川井
初田植え	重要無形民俗文化財	川井
愛宕様参り	重要無形民俗文化財	桑原
大谷愛宕様の火	重要無形民俗文化財	大谷
豆まき	重要無形民俗文化財	大石田
初午	重要無形民俗文化財	桑原
初午	重要無形民俗文化財	大谷
初午（火伏せの行事）	重要無形民俗文化財	西方
三月節句と雛流し	重要無形民俗文化財	清水
虫送り	重要無形民俗文化財	西方
虫送り	重要無形民俗文化財	名入
虫送り	重要無形民俗文化財	大谷
虫送り	重要無形民俗文化財	大石田
虫供養	重要無形民俗文化財	早戸

③町指定文化財（12件）

名称	文化財の分類	地区
伊夜彦神社本殿	有形文化財	西方
木造持国天立像	有形文化財	名入
木造阿弥陀如来座像	有形文化財	名入
木造聖徳太子立像	有形文化財	西方
木造薬師如来座像	有形文化財	川井
木造聖観音菩薩座像	有形文化財	大石田
河越文書	有形文化財	桑原
土笛（大谷中際遺跡出土）	有形文化財	大谷
荒屋敷遺跡出土品	有形文化財	荒屋敷
大石田のおなかなし	天然記念物	大石田
川井の大ケヤキ	天然記念物	川井
キマダラルリツバメ	天然記念物	町全域



【国指定重要無形民俗文化財】

三島のサイノカミ

家内安全、五穀豊穰、無病息災、厄除けなどを祈願する小正月行事で、毎年1月15日夜に行われます。町内11地区で継承されており、三島を象徴する行事です。昨年3月に、小正月の火祭りの典型例として国の重要無形民俗文化財に指定されました。



【町指定有形文化財】

木造薬師如来座像

川井地区の松音寺にある仏像で、高さは約45cm、1677年に造られたものです。その姿は江戸時代初期の仏像様式を今に伝えています。このような薬師如来像は、会津には特に多く残っており、病気を治す神として信仰されてきました。



【町指定天然記念物】

キマダラルリツバメ

シジミチョウ科に属するチョウで、東北地方では福島県と岩手県で生息しています。幼虫はハリブトシリアゲアリの巣の中で育ちます。羽化した成虫は約2cmの大きさで、梅雨の季節の約1カ月間、飛んでいる姿を見ることができます。



【町指定天然記念物】

川井の大ケヤキ

川井地区の森田家の屋敷木として植えられたケヤキで、これほど大きく生長したものは只見川流域でも見当たりません。太い幹と力強く広がる枝、その堂々たる姿は限りない生命力を感じさせ、まだまだ長生きしそうなケヤキの木です。

物語を語り継ぐ文化財

大切な地域の宝物

徳一が仏都会津を築いてから1200年。歴史が刻まれ、文化が生まれ、さまざまな文化財が地域に残りました。三島町には国指定、県指定、町指定、合わせて37件の指定文化財があります。今も受け継がれている行事、静かにたたずむ仏像、それら一つ一つに物語があります。

【県指定重要無形民俗文化財】

虫送り

農作物に害のある虫などを追い払うための年中行事です。集落の子どもたちが手作りの提灯を持って行列になり、掛け声を上げながら集落内を歩きます。6月または7月、田植えが終わり豊作を祈願するさなぶりの日に行われます。



【町指定有形文化財】

伊夜彦神社本殿

西方地区の稲荷神社隣りにあり、1753年に建造されたもので、社殿全面に美しい彫刻がほどこされています。この神社は1496年、大石田村から西方村に移されたといわれており、1909年に稲荷神社と合祀され、本殿のみ現在の位置に移築されました。



【町指定有形文化財】

河越文書

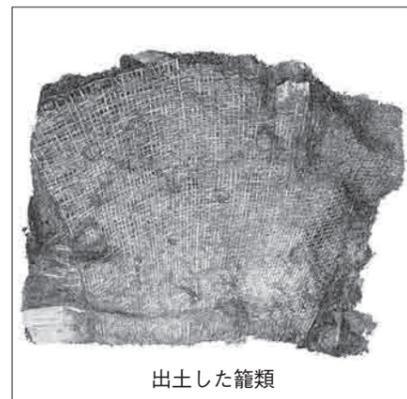
桑原地区の河越家所蔵の約2000件に及ぶ古文書です。河越家は桑原村の名主を務めていた家で、「年貢割付帳」「宗門改帳」「土地帳」などが、江戸時代初期から明治時代初期まで年代順に保存されています。地方史の解明のために大変貴重な資料です。



【県指定重要文化財】

荒屋敷遺跡出土品 280点

荒屋敷遺跡は1986年から1987年にかけて発掘調査が行われました。がけ崩れによって埋もれたとみられる木工や籠類などの生活用具、小屋の跡、たくさんのトチノミなどが出土し、約2400年前にここで人々が暮らしていたことが分かりました。



出土した籠類

歴史・文化をどのように活かすのか

三島町歴史文化基本構想等策定委員会の提言

さまざまな文化財と、それにまつわる物語。それらを町づくりにつなげるために、町では「文化財総合的把握モデル事業」を進めています。未来に何を残し、何を大切にしていけるのか。どうしたら、この山村で豊かな暮らしを拓けるか。町づくりは、今が正念場です。

「※文化財総合的把握モデル事業」では、町内外の有識者や役場各課長などの委員で構成される「三島町歴史文化基本構想等策定委員会」により、昨年10月から現在まで8回の策定委員会が行われてきました。同委員会の赤坂憲雄委員長は「三島町は、文化財専門委員会の方々などが丹念な調査を重ねてくださり、記録がきちんとして残っています。それらを土台として町全体の物語をつくりたいと考えています」と話します。



赤坂憲雄委員長
(福島県立博物館長)

モデル事業では「地域とそこに暮らす人々を主人公とした歴史・文化の保存・継承・活用をめぐる『三島スタイル』の構築」をテーマとして、来年度までに構想などを策定していきます。その基本方針として、①三島町の地域資源を活かした文化戦略を作る②文化財とそれを継承してきた地域社会を包括的に守り育てていくことを

目指す。そのための保存・継承・活用の構想とする③地域とそこに暮らす住民を主人公とし、交流者を巻き込んだ歴史・文化の保存・継承・活用のための仕組みをつくる。特に若者と女性のまなざしを大切にしながら、複眼的に組み立てる④地域の維持・再生を目指して、産業振興・環境保全・生涯学習などにつながる仕組みとするという4方針を掲げています。

6月18日に行われた第7回策定委員会では、「町全体を包み込む物語」「エリアごとに点在する物語」などについて議論されました。地域の年中行事、寺社、野仏、遺跡、あるいは街道などには、そこで暮らしてきた人々の物語があり、それを掘り起こしていこうというものです。小柴吉男委員は「集落ごとに違いがありますが、サイノカミをやっていない集落もありますし、それには理由があります。そういったことが民俗の個性だと思えます。このモデル事業をきっかけに、全集落の集落史を作り上げられたらよいと思っています」

※文化財総合的把握モデル事業
文化庁が全国の自治体から20件を採択して行っている事業で、地域の文化財をその周辺環境も含めて総合的に保存・活用していくための「歴史文化基本構想」や「保存活用計画」を策定する。三島町のほか、岩手県盛岡市、東京都日の出町、新潟県佐渡市、岐阜県高山市、島根県津和野町、福岡県太宰府市、沖縄県南城市などが採択され、それぞれの地域性を活かして取り組まれている

文化庁「文化財総合的把握モデル事業」
三島町歴史文化基本構想等策定委員会
【委員長】

赤坂憲雄 (福島県立博物館長)

【委員】

嵯峨創平 (NPO法人環境文化のための対話研究所代表理事)・懸田弘訓 (福島県文化財保護審議会委員)・阿部眞一郎 (株式会社デザイン研究所代表取締役)・林隆史 (会津大学コンピュータ理工学部教授)・片平隆博 (福島県教育庁文化財課長)・塚原啓史 (福島県会津地方振興局企画商工部長)・猪股慶藏 (福島県会津若松建設事務所企画調査課長)・小柴吉男 (三島町文化財専門委員会委員長)・角田伊一 (同委員)・遠藤由美子 (奥会津書房編集長)・北館長一 (三島町教育委員会教育長)・鈴木隆 (三島町役場総務課長)・渡部繁信 (同町民課長)・五十嵐政人 (同産業建設課長)・矢澤源成 (三島町教育委員会生涯学習課長)

【事務局】
三島町教育委員会 ☎(48)5599



小柴吉男委員
(三島町文化財専門委員会委員長)

と話します。各集落の歴史・文化を継承してきたのは、そこで暮らしてきた人々です。遠藤由美子委員は「地域の人たちが直接かかわれるような仕組みを作ることが大切」と話します。

「例えば小中学生が地域を歩き、そこで見つけたものを地図に書き込む。各集落の人たちが、自分の集落の良いところを掘り起こす。そういう気軽なワークショップを行うことによって、地域の人たちが知らなかった物語が見えてくると思います」
数多くある三島の文化財ですが、中には消失してしまっようなものや昔と形態が変わってきたものもあります。例えば、子ども



遠藤由美子委員
(奥会津書房編集長)

の年中行事「虫送り」は、少子化のため大人たちの手を借りなければ継承できなくなりました。その他の行事も、高齢化によって継承が困難になりつつあります。「継承しなければならぬ。守らなければならない」

い」と言い続けるだけでは、いつかなくなる日が来るでしょう。嵯峨創平委員は「現在の経済や流通に乗せて行く必要がある」と話します。「空き家や耕作放棄地、森林などを活用したビジネスの仕組みづくりを支援していくことで、地域の人たちが本当にやる気を出して参加してくれるのではないかと思います」

目指すのは、住民の皆さんが主人公となって、地域の歴史・文化を活かしていくこと。そして町外からの交流者とともに地域を活性化させ、楽しく豊かな暮らしを築くことです。角田伊一委員は「三島にたくさんある野仏を巡るコースを作ってはどうか」と話します。

「野仏を訪ねながら各集落を巡り、地元の人たちが案内人となって、地域の歴史や民俗、生活習慣、食文化などにも触れることができるような企画を、この構想の中で検討したいと考えています」

角田伊一委員
(三島町文化財専門委員会委員)



嵯峨創平委員
(NPO法人環境文化のための対話研究所代表理事)



町を見つめよう
人と向き合おう
そうすれば
未来へと続く線路が
きつと見えてくる



石坂の夜泣き地蔵 (早戸)

早戸地区にある地蔵や祠^{ほころ}を信仰し、守り続けてきた五十嵐紀美子さん(右)と佐久間長子さん(左)。「親や地域の人から教えられたことを受け継いでできました。村と家族を守っている神様をこれからも大事にし、子どもたちの世代に残していきたいです」。
(7月19日 三島学フォーラム)



大石田地区にある御堂や延命寺、大高寺の言い伝えなどについて教えてくださいました飯塚綱雄さん(右)と五十嵐紋吉さん(左)。「話だけでは伝わらない。御堂に奉納するわらじなどを作ったり、お参りをしたり、実際にやっていかなければ。若い人も参加してくれたらうれしいです」。

地域の文化や知恵を活かした活動を実践している「いまここネット」代表の八木周作さん(右)とメンバーの川合正裕さん(左)。「三島には東京にはないものがたくさんあります。みんなで協力すれば、できないことなんかありません。何だってできます」。
(7月19日 いまここトークライブ)



三島に住みながら、町の外ばかりに目を向けてはいないでしょうか。立ち止まって足元を見れば、わたしたちが生まれるずっと前から、そこにあり続けたものたちが語り掛けてきます。それらを受け継いできた集落の人々が教えてくれます。その声に耳を傾け、物語を感じる事ができれば、もっと違う暮らし、もっと違う未来への道が見えてきます。こんなに豊かな文化が残り、こんなにいい人たちがいる三島だから…

未来への道しるべ 物語を受け継ぐ人たち

エチオピアでの植林
あきらめなければ
夢はきつとかなう



木を植えるエチオピア・ラリベラの子どもたち

NPO フー太郎の森基金 キャラバン隊が来訪

エチオピアのラリベラで植林活動などを行っているNPO法人フー太郎の森基金(相馬市)のキャラバン隊が8月28日、三島中学校を訪れました。ラリベラは非常に乾燥した地域で、水道の水は3日に1回しか出ません。木を植え、森を造成することで大地に水が蓄えられます。代表の新妻香織さんは「本気でやろうと思えば、夢はかないます。絶対にあきらめないことです」と生徒たちに話しました。



三島中ではエチオピア・ラリベラの写真が映された

7町村の連携で
ビジネスをつくり
暮らしを守る



町民センターで行われた三島地区地域懇談会

只見川電源流域振興協議会 三島地区地域懇談会

只見川電源流域振興協議会の三島地区地域懇談会は8月31日、町民センターで行われ、町民の皆さんなど約15人が参加しました。同協議会は只見川・伊南川流域7町村(柳津・三島・金山・昭和・只見・南会津・桧枝岐)で構成され、共同で各種事業に取り組んでいます。事務局は現在、三島町役場内にあります。三島町ではこれまで、道の駅尾瀬街道みしま宿や早戸温泉つるの湯などの整備が、同協議会の事業として行われてきました。今後は流域全体の連携によって地域の魅力を発信し、ビジネスをつくり、人々の暮らしを守っていくことを目指しています。

早戸の湯の恵みを
温泉神社に感謝し
奉納芝居や納涼花火



奉納芝居を演じた佐藤劇団とマル源一座の皆さん

早戸温泉神社まつり 芝居や花火楽しむ

第5回早戸温泉神社まつりは8月22日、早戸温泉つるの湯で開催されました。会場にはラーメンや生そば、太郎布高原などの店が並びました。また、ビンゴゲームやスイカ割りなどが行われたほか、「佐藤劇団とマル源一座」が奉納芝居「出世子守唄」を演じました。最後に納涼花火大会で晩夏の夜空を彩りました。また、只見川対岸への渡し船が出され、来場客を楽しませていました。



スイカ割りを楽しんだ子どもたち

健康長寿を願い
楽しく過ごした
夏の夕暮れ



桐寿苑前で行われた夏祭り

桐寿苑の夏祭り 多くの町民でにぎわう

桐寿苑の夏祭りは8月5日、桐寿苑前で開催されました。会場には、焼きそばやたこ焼きなどの模擬店が並び、多くの来場者でにぎわいました。中学生などの笛や太鼓により盆踊りも行われ、入所者の皆さんも踊りの輪に加わって楽しみました。

桐寿苑の夏祭りは、社会福祉法人みしま職員とボランティアの方々の協力で毎年開催されており、一緒に楽しみながら入所者の皆さんを元気づけています。



盆踊りは中学生などの笛や太鼓で行われた

道の駅の地場産品
売り場を一新して
販売促進



地元生産者の野菜などが並ぶ道の駅

道の駅尾瀬街道みしま宿 店内をリニューアル

道の駅尾瀬街道みしま宿では、地元の農産物や工芸品などの地場産品を主力商品として、売り場をリニューアルしました。お盆期間中は、農産物の売り上げが伸びたそうです。道の駅での農産物の直売は、生産者の組織「産直・こまなかせ」によって管理されています。また、工芸品についても、工人の皆さんや生活工芸館と連携した体制の整備が検討されており、元気ある道の駅づくりが進められています。



きれいで見やすくなった工芸品のコーナー

本場のキムチで
夏野菜を
味わおう



韓国キムチの作り方を学んだきゅうりキムチ講座

韓国の味 きゅうりキムチ講座

三島町婦人団体連絡協議会主催のきゅうりキムチ講座は8月1日、町民センターで行われ18人が参加しました。韓国出身の渡辺千恵さん(昭和村)が講師を務め、参加者が持ち寄ったきゅうりでキムチを作りました。同協議会では毎年1回講座を開いています。昨年の白菜キムチ講座が好評だったので、今年はきゅうりで作ることにしたそうです。韓国キムチの味で、夏野菜の楽しみが増えたのではないのでしょうか。



きゅうりキムチ

斉藤投手の
速球を武器に
松原チームが優勝



熱戦が繰り広げられた地区対抗ソフトボール大会

地区対抗ソフトボール 7チームが参加

お盆恒例の地区対抗ソフトボール大会は8月14日、町民運動場で開催され、7チームが参加しました。お盆休みで帰省した方々も多数参加し、真夏の太陽が照りつける中で和気あいあいと試合が行われました。結果は、松原チームが斉藤敏さんの好投と抜群のチームワークで優勝しました。

【大会結果】①松原チーム②大石田チーム③滝谷チーム、オール名入チーム 最優秀選手・斉藤敏さん(松原チーム)



優勝した松原チームの皆さん



みしまの出来事

身近な情報をお寄せください。 ☎(48)5515



西隆寺(西方)で8月20日夜、三遊亭竜楽独演会が行われました。西隆寺の主催で毎年行われています。独演会には約50人が来場し、一流の落語を楽しみました。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●教育委員会 ☎(48)5599

小学生向け

だいふくもち

田島征三・作
福音館書店



昔、ごさくという男がいました。ごさくはこれといった仕事もせず、毎日ぐうたら暮らしていました。ある冬の夜、床の下から「ごさく」と呼ぶ声がしました…。

中学生・高校生向け

ソフィーの世界

ヨースタイン ゴルデル・著
須田朗・監修 池田香代子・訳
NHK出版



14歳の少女ソフィーに、1通の手紙が届きます。手紙にはたった1行「あなたはだれ？」と書かれていました。「わたしって誰なんだろう？」と思ったその日から、奇妙な出来事が次々に起こり始めました…。

幼児向け

ねえ おはなししてよ

五味太郎・作
岩崎書店



ワニのおじさんは、ウサギさんにお話をしてくれます。今日のお話は「ワニの木」のお話です。ある日、ワニさんの背中に木が生まれましたとさ…。

小学生向け

ひぐまのあき

手島圭三郎・作
福武書店



晩秋の北海道の山奥、ひぐまの親子のある日のお話です。初めてサケを捕りにいったこぐまは、なかなか上手に捕ることができません。やがて見たこともない大きな金色のサケが川に浮かびました…。

新型インフルエンザ 全国で流行 国内で死者も発生

三島町新型インフルエンザ対策本部設置

全国で新型インフルエンザが流行しています。近隣町村でも集団感染が発生しています。これから秋以降、さらなる感染拡大が心配されます。町では、新型インフルエンザ対策本部を設置し、町民の皆さんや関係機関などに対し、予防の徹底を呼び掛けていきます。

☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎(48)5565

●町民の皆さんにお願いしたいこと

- 1 手洗い、うがいをしっかり行ってください。
- 2 症状が出た場合はマスクの着用し、外出を避け、人に咳やくしゃみをかけない「咳エチケット」に心掛けてください。
- 3 急な発熱や咳が出てインフルエンザが疑われる場合は、医療機関に事前に電話連絡の上、受診してください。



森合正典福島県会津地方振興局長から感謝状を受ける栗城俊一さん

納税功労者感謝状 栗城俊一さん(宮下)

納税功労者に対する感謝状の贈呈が8月5日、役場町長室で行われ、栗城俊一さん(宮下)に森合正典福島県会津地方振興局長から感謝状が手渡されました。栗城さんは、三島町納税貯蓄組合連合会長として、県税などの納税に尽力しました。

農地の利用でお悩みの皆さんへ 農地が貸しやすく 借りやすくなります

今年6月に農地法が改正され、農地の貸し借りの規制が緩和されました。貸し借りについては農業委員会に申請し、その許可を得ることで成立します。

●農地の借り受け者の範囲

(改正前) ①農作業常時従業者②農業生産法人

改正後に追加

- ①農作業常時従業者以外の個人
- ②農業生産法人以外の法人

【条件】

- ①農地を適正に利用すること。
- ②地域の農業者と役割分担をし、継続的かつ安定的な農業経営を行うこと。
- ③法人の場合は、業務執行役員の1人以上が耕作などの事業に従事すること。

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

☎ 農業委員会 ☎(48)5556

岩手県西和賀町雪国文化研究所 第19回 雪国文化賞 奥会津三島編組品振興協議会が受賞 編み組細工の取り組みが評価される



表彰状を手にする奥会津三島編組品振興協議会の馬場修子会長

奥会津三島編組品振興協議会が、岩手県西和賀町雪国文化研究所の雪国文化賞を受賞しました。表彰式は8月2日、西和賀町で行われ、馬場修子会長(松原)に表彰状と雪をデザインした純銀製メダルが手渡されました。雪国文化賞は、雪国の特性を生かした文化活動などに取り組んでいる個人や団体に、毎年贈られています。今回で19回目で、福島県内からの受賞は初めてです。

奥会津三島編組品振興協議会は、ふるさと会津工人まつりに訪れた方から推薦され、「ヤマブドウ蔓製のごやまたたび蔓製のざる、ヒロロ(ミヤマカンスゲ)などで作るバッグなど、古来より受け継がれてきた編み組細工を地場産業として振興している取り組みは、積雪山間地に暮らす人々に、自然の恵みと冬の楽しみをもたらす事例として優れている」という審査員の高い評価を受けました。馬場修子会長は、表彰式でのあいさつで「名誉と晴れやかな気持ちでいっぱいです。西和賀町と三島町の友好関係が深まることを願っています」と話しました。

雪国文化賞は、これまで岩見沢農業高校(北海道岩見沢市)、長瀬野漬物研究会(岩手県沢内村)、財団法人雪だるま財団(新潟県安塚町)、和泉雅子さん(女優・冒険家)などが受賞しています。

これからの行事予定 town schedule

- 9月8日(火) 三島町・金山町・昭和村民生児童委員協議会合同研修会 10:00～ (交流センター山びこ)
- 9月13日(日) 「てわっさの里みやした」定期公開日 (宮下)
- 9月27日(日) 福島県市町村対抗軟式野球大会 (県営あづま球場) 【第4試合】三島町対国見町 13:15～
- 9月28日(月) ビーチバレーボール大会 18:30～ (三島中体育館)
- 9月29日(火) ビーチバレーボール大会 19:00～ (三島中体育館)
- 10月1日(木) 民生児童委員協議会定例会 13:30～ (福寿草)

社会福祉協議会
地域ふれあいサロン

高清水・小山ふれあいサロン
検原はつらつクラブ
間方いきいきクラブ
3地区合同「グラウンドゴルフで交流」
9月11日(金)10:30～ 美坂高原

滝谷和楽塾
9月17日(木)10:00～ 滝谷集会所

歳時記 萌の会

仕事だけして逝った息子の墓洗う
穂揃いに微笑む老の指太し
一球の重さを背負い夏の陣
又一軒空き家増やして夏果てる

宮下 諸井 まさ子
検原 片山 祐一

みんなで健康づくり《保健事業の予定》
〒 役場 町民課 保健福祉係 ☎(48)5565

4カ月児健診
9月 8日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

機能訓練会
9月 9日(水) 14:00～ 福寿草

足腰げんき教室 (室内運動編)
9月14日(月) 9:30～ 町民センター

ヘルスアップうんどう教室
9月30日(水) 13:30～ 町民センター



秋の全国交通安全運動
9月21日(月)～9月30日(水)
9月30日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」

スローガン
「知らせよう ここにいるよと 反射材」

◎運動の重点

- ①夕暮れ時と夜間の歩行、自転車の交通事故防止
- ②すべての座席のシートベルト着用と、チャイルドシートの着用の徹底
- ③飲酒運転の根絶

三島町交通対策協議会
交通安全協会三島分会
三島町交通安全母の会

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へ ご遺志によるもの

栗城 隆彦 様 (宮下)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では7月中、刑法犯は発生しませんでした。宮城県内において、警察官を名乗る男が「あなたの通帳が使われています。銀行の者が行きます」などと電話をした後、銀行協会と名乗る男が自宅を訪問し、暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取ろうとする「訪問型オレオレ詐欺」が発生しています。福島県内でも同様の事件が今年3月から4月にかけて発生しており、今後も注意が必要です。

◎不審者の訪問対策

- ①通帳やカードは預けない
- ②すぐに警察に通報

◎不審電話対策

- ①口座番号や暗証番号を教えない
- ②相手をよく確認する
- ③すぐに警察に通報

街頭犯罪等発生状況(1月～7月)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい	1	
忍込み	3	
事務所荒し	1	
出店荒し	7	
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	4	
自販機ねらい	3	
車上ねらい	6	
強制わいせつ		
街頭犯罪計	27	0
全刑法犯	72	1

※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・暴行・傷害・万引き・詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

ふくしまデジタル
情報化フェア2009
福島県高度情報化推進協議会

インターネット、携帯電話、地上デジタル放送など、情報通信技術の最新動向のほか、IT社会の現状やITの利活用例などを紹介するフェアが開催されます。

◎日時 10月27日(火)

◎場所 コラッセふくしま (JR福島駅西口より徒歩3分)
※入場無料

〒 福島県高度情報化推進協議会
☎024(521)7134
ホームページ
http://www.fukushima-koudo.jp

高齢者・障害者の
「人権あんしん相談」強化週間
福島地方法務局

身体的・心理的虐待や差別など、高齢者・障害者が抱える人権問題について電話相談を実施します。

◎相談期間・時間
9月6日(日)～9月12日(土)
8:30～19:00
※6日(日)、12日(土)は10:00～17:00

◎相談電話番号
024(534)2021

〒 福島地方法務局 人権擁護課
☎024(534)1994

9月の納税

- 国民健康保険税 第3期
- 介護保険料(普通徴収) 第3期
- 後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第2期

※納期限は9月30日です。忘れずに納めましょう。

〒 役場 町民課 町民生活係
☎(48)5555

年末調整説明会の
お知らせ
会津若松税務署

平成21年分の年末調整関係事務の説明会を下記のとおり開催します。

◎日時 11月12日(木)
受付開始時間 13:00
説明会 13:30～15:00

◎場所 三島町町民センター

◎対象地域
三島町・柳津町・金山町・昭和村

〒 会津若松税務署
☎0242(27)4311 (代表)
役場 町民課 町民生活係
☎(48)5555

会津大学短期大学部
公開講座のご案内
会津大学短期大学部

1. 会計学入門

◎日時
9月19日(土) 10:30～12:00

◎講師
産業情報学科 講師 大橋良生

◎対象
高校生・一般の方々

2. 「わくわく、どきどき、きらきら」をつなぐ食育を目指して～食を通じた「子育て、子育て」支援事業の実践から～

◎日時
10月3日(土) 13:00～16:10

◎講師
食物栄養学科 准教授 鈴木秀子ほか

◎対象
一般の方々

【申込】会津大学短期大学部
☎0242(37)2300

三島町の人口と世帯
(8月1日現在)

人口	2,100	-3	出生	1
男	980	-3	死亡	1
女	1,120	±0	転入	5
世帯	851	-2	転出	8

※住民基本台帳による数値です。



2009.8.15 この夏を忘れない 三島町成人式

平成 21 年度 新成人者名簿 (敬称略)

小堀誠哉	西原	大竹	友江	滝谷
阿部孝寛	滝谷	栗城	千佳	西大
大竹祐貴	滝谷	川島	織絵	西大
目黒裕邦	滝谷	五ノ井	佐知子	西大
五十嵐正史	大石田	石岡	堀有里	大石田
角田伊織	川井	細田	志馬	大石田
五十嵐正浩	大石田	志馬	場可奈子	大石田
久保田俊宏	荒屋敷	五十嵐	三惠	大石田
山内孝幸	西方			西方
小松正佳	西方			西方

昭和 63 年 4 月 2 日～平成元年 4 月 1 日生まれ

三島町成人式は8月15日、交流センター山びこで行われ、19人の新成人の門出を祝いました。齋藤茂樹町長が「友情、愛情を大切に、元気で明るく人生を歩んでください」と式辞を述べ、新成人一人一人に成人証書を手渡しました。また、記念品として齋藤町長の書「孝慈」が贈られました。続いて、齋藤公朗町教育委員会委員長があいさつし、角田伊一町議会議長が祝辞を述べました。新成人を代表して、五十嵐正浩さん(大石田)が「成人としての自覚を持ち、精いっぱい生きていきます」と誓いの言葉を述べました。式終了後、桐の里倶楽部において懇親会が行われ、小中学校時代の恩師などを交えて、近況や思い出を語り合いました。

◎夏休み子どもプログラム◎

みしまの語り部になろう

【発表会】

むか～し、あつたど～。



キツネにだまさつちや話
板橋 有紗さん (小3)



なげえ名前の話
坂内 遥人くん (小2)



とうふの病気
佐藤 史穂くん (小2)



なげえ名前の話
五十嵐 美絵さん (小5)



とうふの病気
坂内 萌人くん (小4)



小僧の盆花とり
五十嵐 美香さん (小3)



かしゃネコの昔
北館 緑さん
(図書コーナー運営ボランティア)



キツネにだまさつちや話
五十嵐 恵さん
(図書コーナー係員)



かしゃネコの昔
佐藤 果怜さん (小5)



講師 五十嵐七重さん



夏休み子どもプログラム「みしまの語り部になろう」の発表会は8月21日、町民センター図書コーナー「ゆめぼけつと」で行われました。民話の語り部として活躍している五十嵐七重さん(西方)が講師を務め、子どもたちは夏休み期間中、昔話の練習をしてきました。発表会には保護者の方々などが来場し、子どもたちの昔話に聞き入っていました。



秋の高原で
最高のバーベキュー

第8回 会津地鶏まつり

長さ10^{ドル}
ジャンボ焼き鳥に挑戦

◎会津地鶏バーベキュー
【前売券】150口限定
1口3,500円(3~4人分)
会津地鶏1羽分、地元野菜
※調理用ナイフ、敷物などをご持参ください。※会場への肉類の持ち込みはお断りさせていただきます。※当日券も若干販売します。

10月4日(日) 午前10時~午後3時
美坂高原

◎会津地鶏料理コーナー
焼き鳥・地鶏そば・地鶏汁など
その他、各種模擬店多数
◎会津地鶏のひなを無料配布
限定50羽
《シャトルバス》
行き■会津宮下駅発 9:20
帰り■美坂高原発 12:30、15:20

【同時開催】美坂高原新そばまつり

お一人様2,000円(小学生以下1,000円) 午前・午後 各50人限定
ざるそば(天ぷら・山菜地鶏汁・ソフトドリンク付き)

お申し込み・お問い合わせ◎三島町役場 産業建設課 産業建設係 ☎0241(48)5566



編集後記

▼8月30日に行われた衆議院議員総選挙で民主党が308議席を獲得し、政権交代が決まりました。民主党は「税金の無駄遣いと天下りの根絶」「中学卒業まで1人当たり年31万2000円の子ども手当を支給」「医師の数を1.5倍にする」「高速道路の無料化」「中小企業の法人税率の11%引き下げ」などのマニフェスト(国民に対する約束)を掲げています▼これらの約束の実現が大いに期待されます。しかし、「国がやってくれる」と思っている人は、暮らしは良くなると思います。わたしたち一人一人が甘えずに、自分のできることをする、目標に向かって努力することが大切ではないでしょうか。